

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和7年度学校評価 計画

達成度（評価）	
A	十分達成できている
B	おおむね達成できている
C	やや不十分である
D	不十分である

学校名	唐津市立北波多中学校
1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> 主体的な学びについては、興味・関心がないと難しい。また、小学校時代にもうすでに苦手意識があるとそこからなかなか抜け出せない。したがって、各教科どのように学習を進めるべきか、教師側がいかに興味を持たせる授業づくりをするかなどさらに検討していきたい。 保護者や地域の協力、支援を受けて様々な行事を成功に導くことができた。行事を通して達成感や成功体験を積ませることで、生徒の自己肯定感を育てている。今後も業務改善や行事の精選など行いながら勤務時間の適正化を図る必要がある。 生徒会を中心に、平和集会やボランティア活動を通して、人を思いやる気持ちや自他を大切にすることを意識を高めていきたい。 いじめの早期発見、早期対応に対して、気になる生徒への声掛け、保護者の意見を把握、職員の研修会、計画的な教育相談を効果的に活用していく。また、職員全体で情報を共有し、迅速な対応を心がける。

2 学校教育目標	自他を大切にし、互いに認め合い、共に高め合う生徒の育成
----------	-----------------------------

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> ①一人一人が大切にされる学習づくり ②自己指導能力を高める生活づくり ③互いのよさを認め合える仲間づくり
------------	--

4 重点取組内容・成果指標	5 最終評価
---------------	--------

(1) 共通評価項目				最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標（数値目標）					
●学力の向上	○全職員による共通理解と共通実践・学びを自ら調整することに視点を置いた授業実践	○「学習に見通しをもち、理解の状況に応じて学習を調整しようと努めた」に肯定的回答をする生徒80%以上	・「唐津の学びスタイル」を踏まえ、全教科で「ラーニング・マウンテン」を作成・活用する。				
●心の教育	●児童生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○「地域の特色や教育力を生かした教育活動を行っていると思う」に肯定的回答をする保護者80%以上	・「いきいき学ぶからつっこ育成事業」での地域人材による体験活動や、外部講師による講話を実施する。 ・地域人材による平和学習の講話を実施する。				
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	○「学校はいじめのない楽しい学校づくりに努めている」に肯定的回答をする保護者80%以上	・いじめアンケート、生活アンケート、Q-Uの実施、年2回の教育相談期間の設定等を通して早期発見に努める。 ・いじめの対応についての研修・会議を年間に2回以上行う。				
	●◎児童生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動。	●「先生はあなたのよいところを認めてくれていると思う」に肯定的回答をする生徒80%以上 ●◎「将来の夢や目標を持っている」に肯定的回答をする生徒80%以上	・生徒会本部を中心に自治活動を仕組み、生徒を承認する機会を増やす。 ・生徒指導の3機能を生かした取り組みについての研修を行う。				
	○生徒のボランティア精神の育成	○校内外の行事・清掃美化活動・ボランティア活動を1度は体験した生徒80%以上	・生徒会（ボランティアBANK）を中心に企画・運営を行い、生徒の自主的な活動の機会を設ける。 ・通信等による広報、メディアの活用を通して意識の高揚を図る。				
●健康・体づくり	●望ましい生活習慣の形成	○スマホ、ゲーム保有者の使用時間2時間以内/日（月～金）の割合70%以上	・生徒や保護者向けに年1回以上情報モラル講座を行う。 ・学活、保護者懇談会等でスマホの危険性や功罪について考える機会を設ける。				
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減	●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限の遵守 ●年間20日の年次休暇のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数14日以上	・部活動休業日、定時退勤日の設定と声かけを行う。 ・長期休業中に、教職員が休暇を取得しやすい環境を整備する。				
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上	○「特別支援教育に関する専門性が向上した」に肯定的回答をする教員75%以上	・特別支援教育に関する研修会を実施する。 ・校内特別支援会議等での情報共有の仕方を工夫する。				

(2) 本年度重点的に取り組む独自評価項目				最終評価		学校関係者評価	
評価項目	重点取組		具体的取組	達成度（評価）	実施結果	評価	意見や提言
	取組内容	成果指標（数値目標）					
○誰一人取り残さない教育活動の充実	○UDを意識した学習環境の整備と協働的な仲間づくりに向けた人間関係の構築	○「学校に行くのは楽しいと思う」に肯定的回答をする生徒80%以上 ○「学校は、学校教育目標や重点目標に基づいた教育活動ができていると思う」に肯定的回答をする教員80%以上	・教員が「仲間づくり部会」「分析・調査部会」「GIGA部会」のいずれかに属し、実践力を高めるためのアイデアの共有を行い、実践する。				

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> ●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育
----------------	---